

平成24年行政事業レビューシート

( 警察庁 )

事業名	警察用航空機の整備		担当部局庁	長官官房		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	会計課装備室		装備室長 家永 宏之			
会計区分	一般会計		施策名	複数施策に関連する経費(1~7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察用ヘリコプターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものである。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察用ヘリコプターは、パトカーと連携した容疑者の追跡・検挙、大規模災害発生時における遭難者の捜索・救助等各種の警察活動に多角的に活用されているところであるが、こうした警察活動を迅速・的確に遂行するため、新たに必要性が生じた警察用ヘリコプターの整備及び老朽化により飛行の安全性や航空性能が低下した警察用ヘリコプターの更新整備を図る。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	2,304	5,229	3,701	2,140	-		
		補正予算	261	849	796	0			
		繰越し等	0	485	485	0			
		計	2,565	5,593	3,390	2,140	-		
	執行額	2,367	3,760	3,390					
執行率(%)	92%	67%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 警察活動に必要な航空機を整備する。		成果実績	機	81	81	81	-	
	(成果実績) 警察用航空機の保有数		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	警察用航空機整備機数		活動実績 (当初見込み)	機	2	4 (4)	3 (2)	(2)	
単位当たりコスト	1,129,894(千円/機)		算出根拠	平成23年度における航空機(中型ヘリ)1機の整備に要する経費を単位当たりコストとする。 「単位当たりコスト=X/Y」 X: 23年度新規契約総額(3,389,681千円) Y: 23年度新規契約機数(3機)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	航空機購入	2,140		該当する事業がなかったため。					
計	2,140	-							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察用ヘリコプターを国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行するものであることから、国が実施すべき事業であり、また優先度も高い。また、不用率は小さい。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札の結果であり、支出先の選定、競争性の確保及び単位当たりのコスト削減等は適切である。また、仕様費目・用途については、事業目的に則し真に必要なものに限定している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	警察用ヘリコプターは、警察活動の基盤となり上空からの唯一の手段として有効に活用され全国的に一定水準の警察活動が効果的に遂行されており、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。また、全国的に一定水準の警察活動を効果的に遂行しうる機数の維持等に努めており、その活動実績は見込みにあったものである。他省庁にもヘリコプターは保有されているが、その組織の機能に応じ適切な役割分担となっている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名 防衛省、海上保安庁、国土交通省等	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		1 支出先・用途の把握水準・状況 警察用航空機は、警察庁において一括調達しているため、支出先・用途については把握している。 2 見直しの余地 警察用航空機は機動力を確保する上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した警察用航空機の更新や治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。 また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の見直し・点検を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価格に反映させているところである。さらに、競争性、経済性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行っており、今後も効率的な予算執行に努める。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
		2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。	
		3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		特になし	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	当初15、補正10	平成23年行政事業レビュー	62

警察庁  
3,390百万円

〔警察用航空機を整備〕



航空機購入  
【一般競争入札】

A 民間会社(2者)  
3,390百万円

〔航空機の製造請負を実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.三井物産エアロスペース(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	H22中型ヘリコプターの納入等	2,402			
計		2,402	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井物産エアロスペース (株)	中型ヘリコプター等の納入等	2,402		
(内訳)		H22中型ヘリコプター	829	1	
(内訳)		H22小型双発ヘリコプター	505	2	
(内訳)		H23中型ヘリコプター( 型)	337	1	
(内訳)		H23中型ヘリコプター( 型)	326	1	
(内訳)		H21中型ヘリコプター	162	2	
2	三菱商事(株)	中型ヘリコプター等の納入	988		
(内訳)		H21中型ヘリコプター	793	2	
(内訳)		H21中型ヘリ用部品等	195	1	
3					

# 警察用航空機の活動状況

警察用航空機の活動の適否は有事即応性！ 機動力確保と効果的運用は警察用航空機の活動の生命線！

## 警ら活動



雑踏警備や交通渋滞の情報収集



麻薬栽培の発見・検挙



ヤードの発見・検挙



ヘリテレによるナンバー識別



パトカーと連携した追跡・検挙

## 遭難者の搜索救助



ホストによる山岳救助活動



警察用船舶との連携による水難救助活動

## 災害への対処



ヘリテレによる情報収集



救助部隊の緊急輸送



スリングによる物資輸送



孤立住民等の救助

警察用ヘリコプターは、都道府県警察本部に設置されている警察航空隊に配置され、上空からの警ら活動を始め、ヘリテレによる情報収集・伝達、警ら用無線自動車と連携した容疑者の追跡・検挙、遭難者の搜索・救助、大規模災害発生時における対処部隊・物資の緊急空輸等、その高い機動力・輸送力により各種警察活動に不可欠な存在となっている。